

# こいけ 正 昭 小池まさあき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 成田空港

# 国際線の需要取りこぼし

### 6月県議会一般質問



6月県議会本会議で一般質問を行う小池正昭県議

小池議員 羽田空港における国際線増枠によって、成田空港の主要路線が羽田空港に移る、いわゆる羽田シフトを招き、成田空港が誇っていた豊富な国際線ネットワークの一部で崩れた。国への重点要望に「ネットワークの維持」があるが、実際に毀損している状況の中で、県はどう考えているのか。

総合企画部長 アジア有数のハブ空港としての役割を果たすためには、世界との豊富なネットワークを有する成田空港の強みを二層向上させる必要があります。現時点では、羽田空港の国際線増枠による成田空港への影響は見受けられるものの、成田空港のグローバルハブ機能が直ちに損なわ

れる状況ではないと認識しています。県としては、成田空港の着陸料の値下げやノンストップゲート化など、選ばれた空港に向けた空港会社の取組とも連携して、空港の魅力向上、競争力強化に努めてまいります。小池議員 成田空港の処理能力について十分と言え

## ライバルは世界 諸課題を解決し 更なる機能拡充を

「成田国際空港は千葉県の宝である」との主張で、その発展に全力を挙げている小池正昭県議(成田市選出、2期)は6月県議会で登壇し、一般質問を行いました。空港間の競争が激しくなる中で、「成田空港は午前と午後それぞれのピークに離発着が集中して、需要の取りこぼしが発生している。アジアのハブ空港としてその需要を成田で取り込むためには、更なる機能拡充を図る必要がある」として県の考えや取り組みを質しました。小池県議の質問と県担当者の答弁を特集します。

小池議員 成田空港が直ちに毀損する状況ではないという認識だった。確かに、現在も、世界各国へ成田からネットワークが張られている。しかし、一部の路線で運休や撤退が出たのは事実である。また、空港全体の容量はあってもピーク時間帯にはまったく余裕が無く、乗り入れた時間帯に入らず結局需要の取りこぼしが発生している。アジア全体で今、世界の航空需要を自分のところで獲得しようとする躍起になっている。成田が入れないのであれば羽田に、また、首都圏に入れないのであれば、関西国際空港でも良い。実際、関西国際空港は非常に発着回数が増えている。あるい

## 十分ではないなら成田空港容量

総合企画部長 成田空港では、地元から合意をいただいた発着容量30万回化に向けた整備が、本年3月に完了しましたが、一方、国際空港としての性格上、夕方などの特定時間帯にエアラインの就航希望が集中するため、需要に十分応えきれない時間帯も存在します。このため空港会社では、WAMの運用や高速離脱誘導路の整備により、30万回の合意の枠内で、時間帯別の発着回数を増加させるとともに、着陸料の引き下げ

などによる空港の競争力強化によって、他の時間帯での就航回数の増加などを図っています。県としては、空港へのアクセス機能の改善などを通じて、成田空港の利便性向上などに努め、発着枠に余裕のある時間帯の有効活用を促してまいります。小池議員 これまでの地域との約束事項の処理はどうなっているのか。総合企画部長 これまで成田空港の機能拡充に当たっては、国、空港会社から地域へ様々な約束事項が示

されておられ、県としては関係者と連携して地域の理解を得られるよう、その実現に努めてきたところです。この結果、約束事項に関しては、一部の長期的な検討が必要とされる課題を除き、概ね実施されていると考えています。今後、成田空港の機能強化を議論する前提として、国、空港会社がこれまで地域に約束した事項が、確実に実施されていることが重要であり、県としても、引き続き関係者と協力して対応してまいります。

### 小池まさあきプロフィール

経歴

- 昭和41年9月 成田市生まれ 三里塚小、遠山中、千葉日大一高 日本大学工学部卒 同大学院理工学研究科修了
- 平成7年4月 成田市議会議員 初当選(4期連続当選)
- 平成21年6月 成田市議会議員 議長
- 平成23年4月 県議会議員初当選(現在2期目)

現職

- 県議会 商工労働企業常任委員会 副委員長 議会運営委員会委員

# 県産農産物の輸出 しっかりした戦略必要



議場の自席で再質問をする小池正昭県議

**小池議員** 農業を千葉県の基幹産業と位置づけ、今後も持続的な発展を目指す上では、本県産農産物の海外展開を政策的に位置づけ、努力を続ける必要があり、刻々と変わる世界各国、各地域情勢に対して機動的にも対応できるような県の態勢を整えて欲しいと願っている。

かつて日本産の品質の高さであれば、世界で必ず売れるという考え方があった。しかし、実際に輸出に取り組むと、国や地域による嗜好の違いや、求められる産品を把握して対応しなければならず、しっかりとした戦略が必要だ。

小池議員 東京圏における今後の都市鉄道のあり方について、国の交通政策審議会の次期答申へ向けた本県の考え方はどうか。また、国からのアンケート調査に係る作業の進捗状況はどうか。

小池議員 成田空港アクセスの向上を目指す必要がある中で、都心直結線の必要性をどう認識しているのか。

小池議員 成田空港アクセスの向上を目指す必要がある中で、都心直結線の必要性をどう認識しているのか。

小池議員 成田空港アクセスの向上を目指す必要がある中で、都心直結線の必要性をどう認識しているのか。

いくものと考えられますが、事業者が輸出に取り組むに当たっては、多くの課題があるものと認識しています。

農林水産部長 県では、輸出の相手国において十分な需要が見込まれ、国内の競争力に比べ、本県に優位性があるなどの条件を満たす品目を、輸出の重点品目に位置付けていきたいと考えています。

農林水産部長 成田空港を活用した成田市場の輸出拠点化は、農林水産物の集荷力強化や販路の拡大など、卸売市場の活性化に寄与するとともに、県産農林水産物の輸出促進を図る上でも意義のあるものと考えています。

小池議員 道路整備と維持管理についての北千葉道路についていかが。北千葉道路の印西市若秋から成田市押畑間については、平成30年度までが開通目標とのことだが、どのような形態での開通を目指しているのか。

農林水産部長 北千葉道路の4号北千葉道路の印西市若秋から成田市押畑間9・8キロのうち、起点から印西市瀬戸までの1・3キロについては、4車線での開通を予定しています。

## 都心直結線

# 国策としてでの推進働きかけ

小池議員 成田空港アクセスの向上を目指す必要がある中で、都心直結線の必要性をどう認識しているのか。

総合企画部長 現在、交通政策審議会では、この答申の取りまとめに向け、関係都県及び政令指定都市が認識

●県政と成田市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

小池まさあき 県議事務所 TEL.0476(22)0688

●メールもお気軽にご利用下さい。koike@ngy.3web.ne.jp

SNS Facebook、Twitterでも情報発信中！

北千葉道路成田市押畑・大山間  
用地取得率89%に

このため県は、成田市が設立した「成田市場輸出拠点化推進協議会」に参加し、これまでの知事トップセールスなどで得た知見を生かしながら、生産者団体や物流業者と共に検討を進めているところだ。

今後、県としても、成田市場の輸出拠点化の実現に向け、積極的に関与してまいりたいと考えています。

県土整備部長 成田市押畑から成田市大山の間3・7キロについては、鋭意、用地の取得を進めているところです。今年に入り2件の取得ができて、現在の用地取得率は面積ベースで89%となっております。